

良質な北陸産大麦を目指して

良質な“大麦”の生産には基本技術の励行が重要です。

基本技術の徹底

排水対策の徹底

大麦は湿害に弱く、排水不良による登熟不良が収量・品質を低下させる原因になります。特に水田作では排水溝の設置や排水溝と排水口を確実に連携するなどの排水対策が重要です。



●弾丸暗渠による排水対策(トラクターによる簡易施工)

適期・適量の播種

早播きや過剰な播種量は登熟不良などの原因になります。適正な播種時期及び播種量に努めましょう。



●耕うん同時畦立て播種(土の通気を改善する湿害軽減技術)

基肥・追肥の適正な施用

施肥時期や生育量に応じた適正な施肥量を施用しましょう。特に追肥は生育状況に応じて適期に施用しましょう。また、緩行性尿素肥料(基肥一発肥料)の導入は、施用作業の省力化が図られます。

病害虫の適期防除

赤かび病を防ぐため、開花期に最初の防除を行いましょう。さらに地域の気象条件、普及指導センターや各JAなどからの各種情報を考慮し必要に応じて追加防除を行いましょう。

適期収穫と乾燥・調製の適正化

早刈りや刈り遅れなどは、品質に大きな影響を与えるので、成熟期を的確に判定した上で収穫し、乾燥・調製することで品質の低下を防止しましょう。

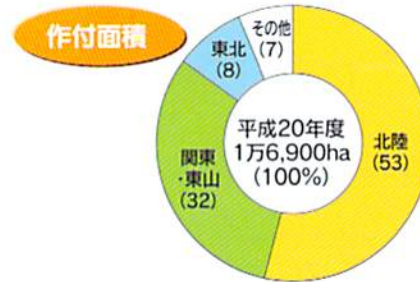


●小型反射式光度計(窒素量を現場で短時間に測定)

品質・単収の向上

北陸地域は、六条大麦の主産地となっており、全国の約半分を作付けています。

単収は、年産によるブレが大きく、安定生産のための基本技術の励行が品質・単収の確保には重要です。



水田を有効活用し、大麦の生産を拡大する場合

(水田等有効活用促進対策交付金)

新規転作田及び調整水田等における大麦の作付拡大に応じた支援を行います。
また、「水田経営所得安定対策」の対象者が取り組んだ場合には、固定払相当額及び成績払いも支払われます。

～対象となる取組～

- ① 生産調整実施者であること
- ② 実需者との播種前契約等があること
- ③ 低コスト生産を行うこと
- ④ 捨てづくりを行わないこと
- ⑤ 新規転作田及び作物を作付けていない水田等で作付拡大していること

◆大麦の場合の10a当たりの助成金のイメージ◆

大麦：62千円

(担い手の方) 成績払 9千円
(担い手の方) 固定払相当額 18千円
面積払 35千円

※担い手の方の「固定払相当額」及び「成績払い」は、水田経営所得安定対策に加入していることが要件。「成績払い」の助成額は、平均単収で試算したもの
※平成22年産麦から対象
※助成単価は、それぞれの地域において分配総額の範囲内で調整が可能
※緑色の部分を水田等有効活用促進交付金で助成

【この資料に関するお問い合わせ】

北陸農政局 生産経営流通部 農産課 電話：076-232-4302